

まちの ニュース

冬の八幡平市の魅力丸ごと楽しむまつり

2009八幡平ゆきまつりは、2月15日に焼走り会場では、2月21、22の両日に八幡平温泉郷会場それぞれ開催されました。

岩手山焼走り国際交流村の会場では、バナナボート体験や宝探しに子どもたちが夢中。スノーモービルの試乗や手作り凧の製作指導なども人気を集め、訪れた人々たちを楽しませました。



親子で力をあわせた雪上運動会(八幡平温泉郷会場)



宝探しに夢中の子どもたち(焼走り会場)

八幡平リゾートパノラマスキー場入り口付近の八幡平温泉郷会場では、キャラクタースhowerや雪像コンテスト、雪上ドッグランドなどが好評。また、七滝観賞雪上トレッキングや樹氷ツアーも人気を集めました。
親子が力を合わせて挑戦する雪上運動会は、多数のチームが参加。ペットボトルの的に雪玉を当てて倒す「雪玉的当て」など、4種目で熱戦を繰り広げました。
県内外から家族連れなど大勢の観光客が会場を訪れ、盛りだくさんのイベントのほか、杜仲茶ポークを使った豚汁の振る舞いなど、地元食材などを楽しみ、冬の八幡平市の魅力満喫しました。

運動会で世代の垣根を超えて交流を深める

平成20年度世代交流運動会は2月13日、寺田柔剣道場で行われました。
これは、お年寄り子どもが世代を超えて交流し、住み良い地域にしようといわれているもので、今年で11回目です。寺田地区の老人クラブ会員や寺田保育所の園児など、約120人の市民が参加。地区ごとに6チームに分かれ、お年寄り園児たちは力を合



↑お年寄りとお年寄りに手を繋いでプレーする「でかパンツリレー」

←この日のために練習を重ねてきたお遊戯を、元気いっぱい披露しました

わけて「でかパンツリレー」や「ボール送り」などの競技に挑みました。
お年寄りに喜んでもらおうと、園児たちが競技の間にお遊戯を披露すると、会場は拍手であふれました。競技終了後は、地域の交流会も行われ、互いの健闘をたたえ合いました。競技の結果は次のとおりです。
①染田②若宮③白坂・野口

健康づくりは日々の楽しい取り組みが大切

市健康づくり推進大会は2月22日、西根地区市民センターで行われました。市民など約300人が参加。80歳で20以上の歯を残す運動の達成者と、虫歯のない3歳児母子を表彰しました。熊本機能病院理事長の米満弘之先生を講師に迎え、メタボリックシンドローム予防について講演。このほか、健康体操の実演なども行われ、参加者は健康づくりについて楽しく学びました。



虫歯のない3歳児母子として表彰された安部恵さん親子

豆まきとお遊戯で笑顔と元気をプレゼント



豆まきで鬼に立ち向かう園児たち

柏台保育所の園児23人は1月28日、松尾デイサービスセンターを訪問し、通所者と交流を深めました。フラダンスやヒーロー、着物などの衣装を着た園児たちが、かわいらしいお遊戯を披露。全員で豆まきの歌を歌い、同施設の職員が扮する鬼を、元気いっぱい豆まきで退治しました。園児たちは、「元気で長生きしてください」と呼び掛け、お年寄りを元気付けていました。

荒屋公民館のお菓子作り講習会は2月18日、同公民館で行われました。

お祝いイベント、プレゼントなどに役立ててもらおうことを目的に開催。地域から7人が参加し、ベークドチーズケーキと中国の揚げ菓子「開口笑」を作りました。講師の勝又紀子さん(荒屋新町)から、材料の分量や作業を進めるときのコツなどを聞きながら、参加者はお菓子作りを楽しんでいました。



手際良く材料を混ぜていく参加者

お祝いやプレゼントに役立てるお菓子作り



市長の講演に熱心に耳を傾ける参加者

浅沢地区地域振興協議会(北口和男会長)の「市長と地域づくりテーマトーク」は2月11日、浅沢神楽伝承館で行われました。地域から63人が参加。田村正彦市長が「合併の成果と今後の課題並びに住民に期待すること」と題して、合併から現在までの市の状況や財政政策などについて講演しました。講演の後には、市政などについて参加者と意見を交換しました。

市長と地域の将来を語り合うテーマトーク

日ごろの練習の成果を披露する芸能まつり

市芸術文化協会の八幡平市西根地区芸能まつりは2月8日、西根地区市民センターで行われました。

地域の郷土芸能保存会やサークルなどが、日ごろ練習を重ねてきた24演目を発表。大正琴や市指定無形民俗文化財の郷土芸能やバレエ、民謡などが披露されました。来場者は、ステージ上で繰り広げられる華やかな芸能に見入り、大きな拍手を送っていました。

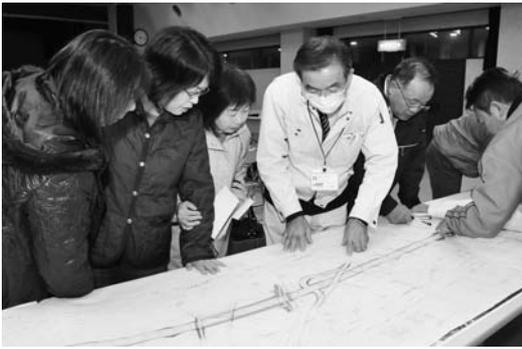


岩手山神社山伏神楽保存会による華やかな神楽

西根バイパス第2期工区の設計に意見聞く

国道282号西根バイパス第2期工区の説明会は1月29日、西根地区市民センターで行われました。

この説明会は、総合運動公園前から平館保育所付近までの詳細設計が完成したことを受けて開催したものです。盛岡地方振興局土木部岩手出張所の職員が、関係者へ設計内容を説明。関係者から出された意見をもとに取り付け道路の位置など、設計を修正していきます。



県職員から設計の説明を受ける関係者

市の教育振興に関わる人が一堂に会し、今後の運動について共通理解を深めようと、平成20年度八幡平市教育振興運動推進大会は2月21日、市総合福祉センターで開かれました。

市内12の実践区から、関係者など約160人が参加。沖縄県名護市との交流を体験した中学生の発表や、地域の実践区の事例発表などが行われ、参加者は活動推進への意欲を高めていました。

地域みんなで力を合わせ子どもを育てよう



さまざまな取り組みが発表されました

マックスバリュ西根店(田中良典店長)は2月4日、障害福祉サービスマネジメント「ポパイの家」(遠藤和義管理者)の利用者に寿司の実演試食会を行いました。

実演は田頭公民館で行われ、同店の従業員5人が約40人前を提供。握り寿司のほか、節分に合わせて恵方巻きなども用意しました。利用者は笑顔で寿司を味わい、ハンドベル演奏を披露して感謝の気持ちを伝えました。



注文に応じて、寿司の握りを実演しました

福祉事業所の利用者のため寿司の出前実演



未来のオリンピック選手たちが大ジャンプ

「目指せオリンピック」をスローガンに掲げ、第2回東北北学童ジャンプ大会は2月15日、田山ジャンプエで開かれました。

岩手、秋田、青森の小学生17人が出場。日ごろの練習の成果を発揮しました。

市から出場した選手の主な成績は次のとおりです。（敬称略）

▽低学年の部①工藤颯悠（田山小4年）②高橋佳佑（田山小2年）

▽高学年の部②小林陵侑（柏台小6年）

↑低学年の部で、2本とも最長距離を飛び、優勝した工藤颯悠くんのジャンプ

→市から出場した7選手。この中から未来のオリンピック選手の誕生が期待されます

みんなで楽しくサッカーをやってみよう！



楽しくサッカーに親しむ子どもたち

点数や勝敗などは特に記録せず、子どもたちは体を動かすことの楽しさを思う存分体験していました。

市内外の公認キッズリーダー資格者10人が講師となり、講習会が始まります。笑顔で駆け回り、体を温めた後、ボールの蹴り方や触り方などの基本について学びました。講習会に引き続き、5人程度で1チームを組み、リーグ戦形式のミニゲームを行いました。子どもたちは、保護者などの声援を受けながら、人工芝のグラウンドでボールを追いかけ、元気いっぱいプレーを見せます。パスやドリブルからシュートが決まると、チームみんなで歓声を上げて大喜びでした。

サッカーを通じて、子どもたちに運動の楽しさを伝えようと、JFAキッズサッカーフェスティバル（県サッカー協会主催）は2月15日、アリーナまつおで開かれました。市内をはじめ、盛岡市や二戸市などから10歳以下の子ども約200人が参加。開会式の後、各年代ごとに分かれ、講習会やミニゲームなどを行いました。



使ったボールは自分たちで片付けます